

ベルギーが生んだ異端の巨匠

ジェームズ・アンソール展

James Ensor

1860-1949



《仮面と死神》1897年 リエージュ市立近現代美術館蔵 ©SABAM, Bruxelles & SPDA, Tokyo, 2005

2005.10月21日[金]-12月4日[日]

●休館日=月曜日

●開館時間=火~金曜日(9:30~19:00) / 土・日曜日・祝日(9:30~17:00) 入室はいつでも閉館30分前まで / 初日は午前10時開展式

入場料 一般 900円(720円) 高・大生 500円(400円) 小・中生 300円(240円)

●()内は前売りおよび団体20名様以上の料金 ●前売りは美術館1階受付にて販売 ●65歳以上の高齢者(長寿手帳等が必要)

・身体障害者手帳・療育手帳または精神障害者保健福祉手帳所持者は入場無料 *会期中の土曜日は小・中・高生入場無料

主催: 高松市美術館 / 日本経済新聞社 / テレビせとうち 後援: ベルギー王国大使館 協力: 日本航空

企画協力: アプトインターナショナル

Takamatsu City Museum of Art

高松市美術館

〒760-0027 香川県高松市紺屋町10-4

Tel.087-823-1711

ホームページ <http://www.city.takamatsu.kagawa.jp/kyouiku/bunkabu/bijyutu/index.html>



《首吊り死体を奪い合う骸骨たち》1891年 アントウェルペン王立美術館 ©SABAM, Bruxelles & SPDA, Tokyo, 2005

ジェームズ・アンソール(1860-1949)は、マグリット、デルヴオーとともにベルギー近代美術を代表する国民的芸術家の一人で、「仮面の画家」として広く知られています。

彼の代表的な作品には、さまざまな仮面、怪物、骸骨などが登場し、人間の心の奥に潜む邪悪な感情が赤裸々に、時に悪ふざけともとれるようなユーモアを交えて表されています。その衝撃的ともいえる表現は、第一次世界大戦を前後して現れた表現主義やシュルレアリスムの画家たちに大きな影響を与え、その先駆者として高く評価されています。

本展は、日本で開かれるアンソールの大規模な回顧展として、前回からじつに20年ぶりに開催されるものです。アンソールの初期から晩年までの油彩、素描、版画、140点あまりを、大きく三部に分けて紹介します。

第一部は、故郷の海辺の風景や身近な人々などをモチーフに、光や物の質感を丹念に描いたリアリズムの時代です。異端の画家として知られるアンソールの意外な側面をご覧ください。

第二部では、アンソールの芸術に影響を与えたとされる葛飾北斎による絵手本『北斎漫画』を模写した一連の素描や、中国の陶磁器、日本の団扇が描かれた作品など、東洋の影響がみられる作品を中心に紹介します。

第三部では、アンソールの芸術を最も特徴づける仮面や骸骨、グロテスクな生き物が登場する作品を中心に紹介します。宗教的、社会的テーマを扱いながら人間の真実に迫るアンソールならではの辛辣で諧謔にみちた批評精神が発揮されています。

没後半世紀以上がすぎた今もなお異彩を放ち続けるアンソールの作品世界に触れるまたとない機会です。ぜひお楽しみに。

Ensor

ベルギーが生んだ異端の巨匠 1860-1949

James Ensor



《花飾りの帽子をかぶった自画像》1883年制作、87-89年頃加筆 ©SABAM, Bruxelles & SPDA, Tokyo, 2005



《赤キャベツと仮面》1925-30年 個人蔵 ©SABAM, Bruxelles & SPDA, Tokyo, 2005



《シノワズリー(『北斎漫画 五編』第二十二丁裏、葵上または御息所)》1885-86年 アントウェルペン王立美術館 ©SABAM, Bruxelles & SPDA, Tokyo, 2005



《楽園から追放されるアダムとイヴ》1887年 アントウェルペン王立美術館 ©SABAM, Bruxelles & SPDA, Tokyo, 2005

記念講演会

- 「アンソールはどのように評価されてきたか」講師：龍野有子氏(岡山大学助教授)
10月23日(日)午後1時30分より1階講堂にて/先着200名/入場無料

ワークショップ

- 「スズキコージの仮面ワークショップ」
講師：スズキコージ氏(絵本作家・イラストレーター)
11月3日(木・祝)午前10時～午後3時(うち1時間休憩)/3階講座室3-4にて
/対象：小学生から大人まで/定員30名/材料費300円/お申込は9月1日午前9時30分から美術館受付または電話で。定員になり次第締切。

ギャラリートーク(観覧券が必要)

- 当館学芸員によるギャラリートーク
10月22日(土)午後2時より2階展示室にて
- 美術館ボランティアcivi(シグイ)によるギャラリートーク
会期中の日曜日・祝日 午前11時～午後2時/1日2回 2階展示室にて
*10月23日午後回はなし

アートで遊ぼう!(鑑賞プログラム)

- 12月3日(土)/2006年2月4日(土)/3月4日(土)午前9時30分～11時
対象：小学3～6年生 定員：15名(先着順)
3回連続で受講してください。お申込は美術館受付または電話で。

常設展のお知らせ

- 第3期常設展 8月20日(土)～10月30日(日)
- 第4期常設展 11月3日(木・祝)～1月15日(日)
*特別展のチケットでご覧いただけます。

催物のお知らせ

- ミュージアム・コンサート「バノハ弦楽四重奏団」
11月6日(日)午後6時30分開演(9月15日より美術館1階受付にてチケット販売)
- 昭和モダニズムの金工家たち 高松市美術館コレクション展Ⅱ
2006年1月20日(金)～2月5日(日)



交通のご案内

JR四国→JR高松駅下車、南へ徒歩15分
ことでん→五町駅・片原町駅、徒歩10分
バス路線(ジャックビグ・レインボー循環バス)組屋町バス停下車、徒歩3分
駐車場 美術館地下に公営駐車場(有料、乗用車144台収容)